

<選び食いと採食量>

右のグラフは、牛舎内の牛の実頭数にたいして何頭分のTMRを採食したかを表したものです。

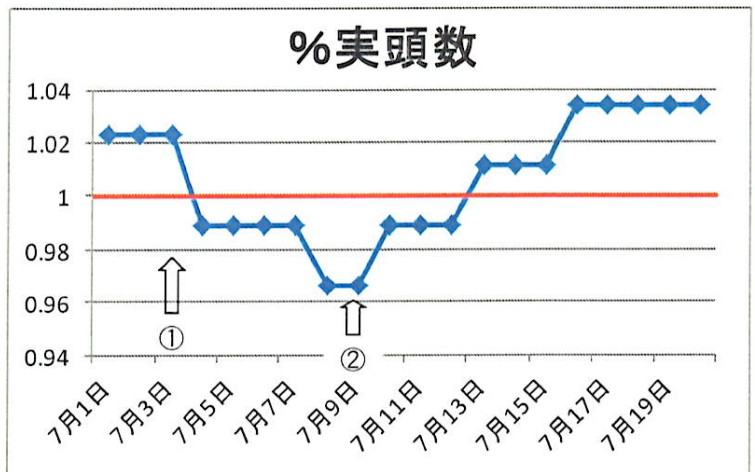
①でサイレージの水分の低下による選び食いが始まったタイミングからTMR採食量が減りはじめましたが、畜主の機転によりTMRに加水をし始めた②からまた採食量が戻ったことが分かります。

おそらく選び食いによるSARAと、それに

引き続く採食量の低下を示していると考えられます。そして加水により選び食いが阻止されることでSARAも解消され、再び採食量が元に戻ったものと思われま

- 毎日TMRの採食量が変動する
- 高泌乳用TMRを給与しているにもかかわらず乳生産や採食量が少なく、牛が痩せていたり、毛艶が悪い

などの症状が群で観察されるときは、選び食いやSARAがないかを注意する必要があります。

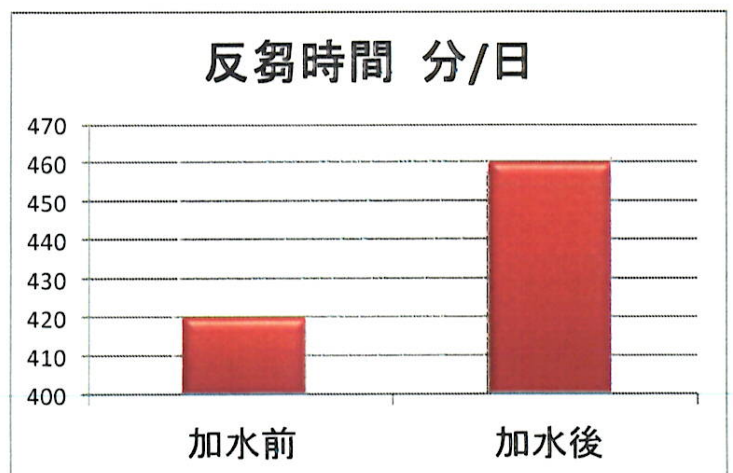


- ① サイレージの水分の低下と選び食いが始まる
- ② TMRに加水(約10%/頭)

<選び食いと反芻時間>

右のグラフは、選び食いの起きている農場のTMRに加水をした前後での反芻時間を示したものです(反芻時間は首輪タイプの活動量計で計測)。

加水により選び食いが阻止され、粗飼料も十分に採食されたことで反芻刺激が促されたのか、反芻時間が増加しているのが分かります。



す。反芻は唾液の分泌を増加させ、唾液はルーメン内の酸を中和する重要な役割があります。

このようにSARAは採食量や反芻行動に悪影響をあたえ、乳牛の乳生産・健康性を脅かします。

TMR給与の大きなポイントの一つは、この「選び食い」を如何にコントロールするかです。